



取扱説明書

SDプレーヤー付PAアンプ

YD-311B / 314B / 321B / 324B

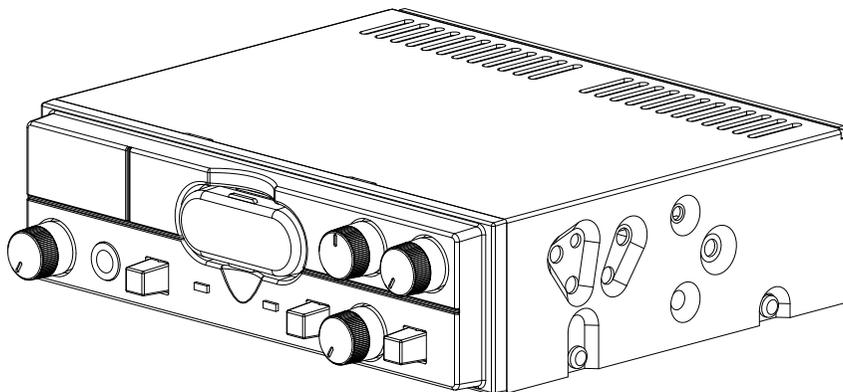
このたびはノボル車載用SDプレーヤー付PAアンプをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、必ず保管してください。（保証書付）



裏面の「安全上のご注意」をお読みになってから本文をお読みください。

■特長

- SDカードを使ってMP3、WMA、M4Aを繰り返し放送することができます。
- マイク入力音量が一定の大きさ以上になるとSD音量が自動的に低下します。
- パーキングブレーキ検出スイッチに検出線（黄色線）を配線しておくことでサイドブレーキレバーを操作した時に自動的にSD音量が低下します。レバーの位置を元に戻すと低下していたSD音量が元の大きさに戻ります。
- マイクからの音とSDカードからの音をミキシングして放送することができます。
- DIN規格サイズのためコンソールボックス内に取付できます。
- カールコード・トークスイッチ付ハンド形ダイナミックマイクロホンが付属しています。



■目次

特長	1
安全上のご注意	2、3
使用電源のチェック	3
設置・使用上の注意	3、4
SDカードについて	4、5
接続方法	5、6
取付方法	6、7
各部の説明と使い方	8、9
ミュートについて	9
故障かな？	10
仕様	11
著作権法について	11
品質保証書	12

■安全上のご注意

この安全上のご注意及び製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	<p>この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>		<p>この記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。</p>
 注意	<p>この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>		<p>この記号は禁止の行為であることを告げるものです。</p>
			<p>この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 ●の中や近くに具体的な強制・指示内容が描かれています。</p>

 警告	
<p>●工事には、専門知識と技術・経験が必要です。 火災・感電、けが、品物損壊の原因となりますので、販売店、工事店に依頼してください。</p>	 強制
<p>●表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●この機器を使用できるのは日本国内のみです。商用（AC）電源には接続しないでください。 火災・感電の原因となります。</p>	 禁止
<p>●この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災の原因となります。</p>	 水ぬれ禁止
<p>●この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。 内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。</p>	 分解禁止
<p>●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切ってください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。 ●万一、機器の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●万一、内部に液体が入った場合は、電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 ●万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	 強制
<p>●この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災の原因となります。 ●この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、カバーに通風孔があけてあります。 次のような使い方はしないでください。 ・この機器をあお向け、横倒しや逆さまにする。 ・この機器を風通しの悪い、狭いところに押し込む。 ・上からカバーをかけて使用する。 ●この機器の通風孔から内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落したりしないでください。 火災・感電の原因となります。特に小さいお子様にはご注意ください。</p>	 禁止
<p>●車の運転に支障のある場所、乗降時に身体や衣服が引っかかる場所やエアバッグの作動に支障のある場所等に取付、配線をする、交通事故・けがの原因となります。</p>	 禁止
<p>●運転中に複雑な操作はしないでください。交通事故・けがの原因となります。</p>	 禁止
<p>●パイプ、タンク、配線などを傷つけないでください。車体に穴をあけるとパイプ、タンク、配線などに傷を付けると交通事故・火災の原因となります。</p>	 禁止
<p>●規定以外のヒューズを使用しないでください。火災の原因となります。 ●ヒューズを交換する場合は、規定のヒューズ以外は使用しないでください。火災・感電の原因となります。</p>	 強制

⚠ 注 意

●他の機器を接続する場合は各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又、接続は指定コードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となりますことがあります。

●振動の多い場所、ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして交通事故・けがの原因となることがあります。



禁 止

●この機器は、ブラケットなどで確実に固定してください。
振動などにより落ちたり、倒れたりして交通事故・けがの原因となることがあります。



強 制

●電源コードの接続はプラス（+）、マイナス（-）を間違えないようにしてください。
アンプや車の故障の原因となります。

●配線は電源スイッチを切ってから行ってください。電源スイッチを入れたまま配線すると、感電の原因となることがあります。



強 制

●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。



注 意

●電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となります。



注 意

●ヒーターの熱風や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に設置しないでください。
キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



禁 止

●湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁 止

●年に一度ぐらいは、機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。
機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。
なお、掃除費用については販売店にご相談ください。



注 意

■使用電源のチェック

お買い上げいただいたアンプを車に取り付けていただく前に、もう一度アンプと車の電源が合っているかを確認してください。各アンプの使用電源は下表のとおりです。

アンプ	YD-311B/YD-321B	YD-314B/YD-324B
電 源	DC12V ⊖ アース車専用	DC24V ⊖ アース車専用

■設置・使用上のご注意

- 次のような場所を避けて通風のよい場所に取り付けてください。
 - ・車の運転に支障のある場所
 - ・乗降時に身体や衣服が引っかかる場所
 - ・エアバックの作動に支障のある場所
 - ・直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上）
 - ・ヒーターの熱風が直接当たる場所
 - ・密閉された風の通らない場所
 - ・温度が著しく高くなる場所
 - ・雨が吹き込んだり、水がかかりやすい場所
 - ・スピーカー等の磁気をおびた場所
- 取付に使用するボルト等は必ず同梱の付属ボルトを使用してください。
付属ボルト以外のものを使用した場合、アンプ本体の故障の原因となることがあります。
- ⊖側電源接続コード（黒）はバッテリーの⊖端子、又は車体の金属部に確実にねじ止めしてください。接続が不完全ですと、出力低下、雑音発生等の原因となります。
- 取付作業前にバッテリーの⊖側ケーブルをバッテリーの端子からはずしてください。
作業終了までこのケーブルは接続しないでください。
- 本機の近くで無線機や携帯電話機を使用した場合、スピーカーから雑音を拡声する原因となることがあります。
本機使用中に無線機や携帯電話機を使用する場合は十分にご注意ください。
- 電源（赤）は本体電源切り忘れ時、バッテリーあがりを防止する為エンジンキー（ACCスイッチ）の出力側に接続することをお勧めします。

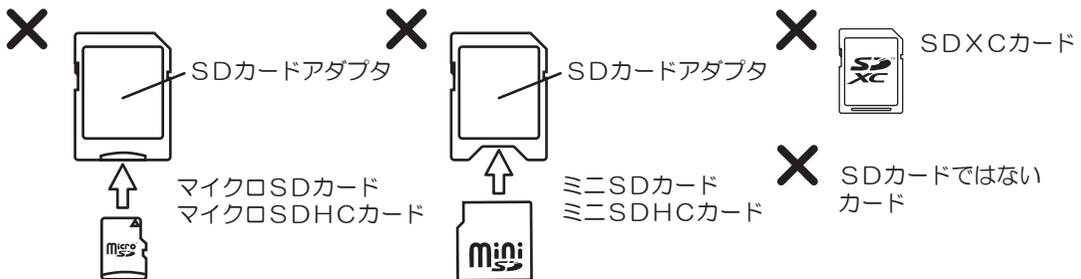
- マイクロホンのプラグをジャックから抜き取る時は、必ずプラグ本体を持って抜いてください。コードを持って引き抜くと断線やショートの原因になります。
- マイク放送時はハウリングしやすいので音量をあまり上げないようにしてください。スピーカー付近でマイクを使用し、音量を上げるとハウリングを起こします。マイクにスピーカーの音が入らないように、マイクの向きを変える、マイクを離す、音量を下げる等の対策をお願いします。
- 音量を上げすぎると音が歪んでしまい聞き苦しくなることがありますのでむやみに音量を上げないようにしてください。
- 周囲の状況に応じて音量をこまめに調節するようにしてご使用ください。
- SDカードは正しい方向で挿入してください。「カチッ」と音がして、ロックするまで押し込んでください。抜き取りは、再度「カチッ」と音がするまで押し込めば出てきます。
- SD再生中にSDカードの抜き挿しを行わないでください。

■SDカードについて

YD-300Bシリーズに使用できるSDカードは下記のものになります。
SD、SDHCはSD-3C L L Cの商標または登録商標です。



YD-300Bシリーズで使用できないカード
マイクロSD、ミニSDカードはSDカードアダプタを使用しても使用できません。

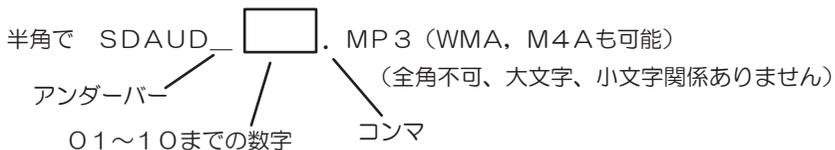
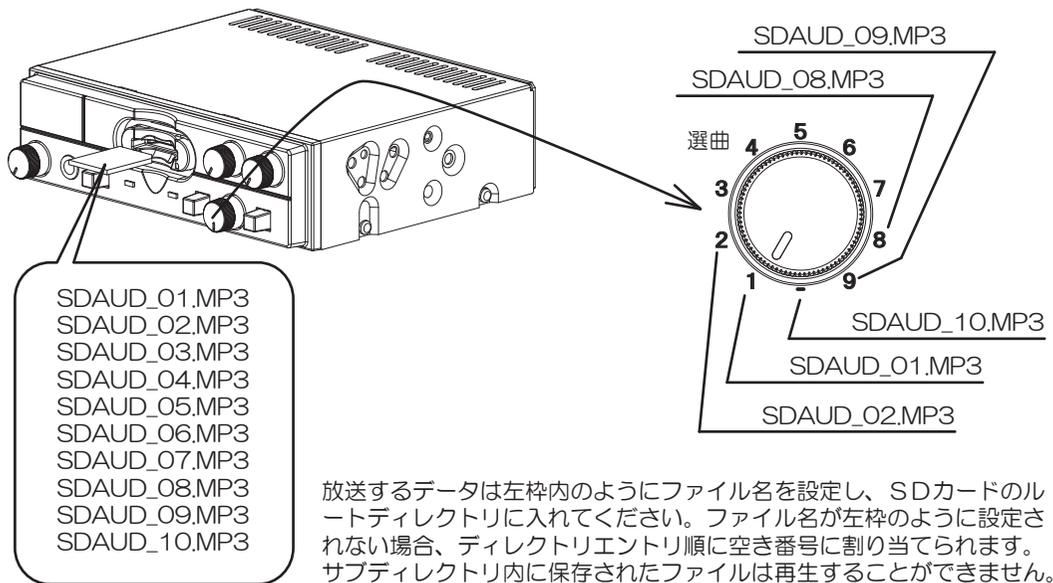


YD-300Bシリーズで放送できるデータ形式は下記のとおりです。

- OMP 3 (Mpeg Layer3 : *.MP3)
ビットレート：8～320kbps、VBR (Variable Bit Rate)
サンプルレート：8～48kHz
モノラル (ステレオデータの場合はLchのみの放送になります。)
- OWMA (Windows Media Audio : *.WMA)
WMA Ver.9 Standardに対応
ビットレート：5～384kbps、VBR (Variable Bit Rate)
サンプルレート：8～48kHz
モノラル (ステレオデータの場合はLchのみの放送になります。)
- O AAC (Advanced Audio Coding : *.M4A)
iTunesによりエンコードされたMPEG4 AAC-LCに対応
ビットレート：8～320kbps、VBR (Variable Bit Rate)
サンプルレート：8～48kHz
モノラル (ステレオデータの場合はLchのみの放送になります。)

YD-300BシリーズはSDデータ (MP3、WMA、M4A) のファイル名を指定して放送を行うので、次の5ページのようにSDデータのファイルを設定してください。
(注意：パソコン、SDカードリーダーライターは別途ご用意ください)

(例)



拡張子について

パソコンの初期設定は拡張子が非表示となっています。ファイル名を設定する場合は、拡張子が重ならないようにご注意ください。

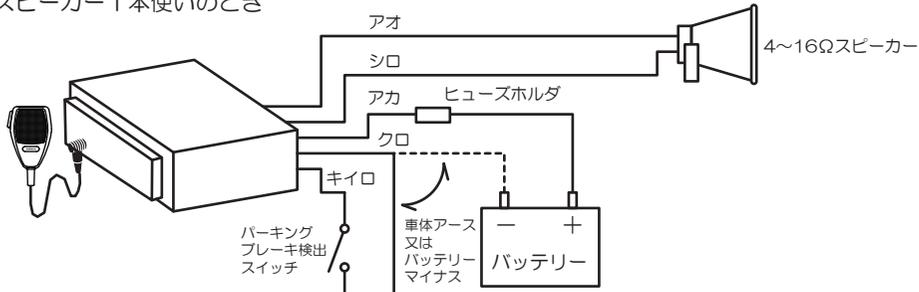
使用するカードや記録状態、記録方法、ファイルの作り方により再生できない場合があります。SDカードに記録したデータは、機器の故障や誤った操作、不適切な取り扱い等で失われる場合があります。パソコン等へのバックアップをして、データの保護をしてください。失われたデータは保証できません。

■ 接続方法

1. 付属コードのソケットから出ている各コードを6ページの通り接続してください。
 - 赤色コード：エンジンキー（ACCスイッチ）の出力側、またはバッテリーの+端子に接続してください。
 - 黒色コード：バッテリーの一端子又は車体金属部に接続してください。
 - 青色コード：スピーカーのH端子に接続してください。
 - 白色コード：スピーカーのC端子に接続してください。
 - 黄色コード：パーキングブレーキ検出スイッチに接続してください。
2. 付属コードのソケットを本機の後部にあるプラグにロックするまで押し込んで接続してください。

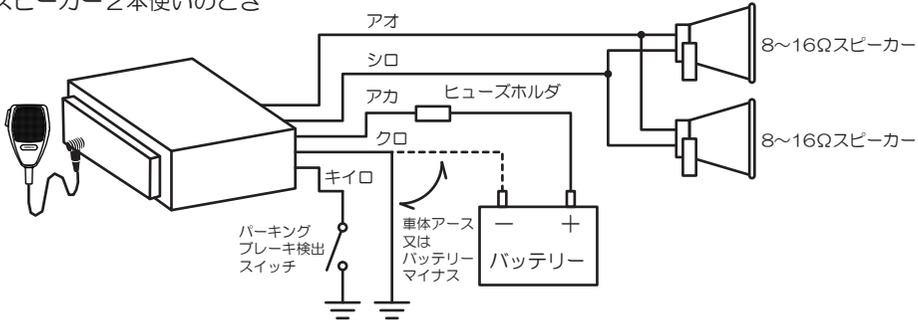
【注意】 接続が終わるまで接続コードを本機後部のプラグに接続しないでください。

スピーカー1本使いのとき



パーキングブレーキ警告灯（表示灯）は車種により点灯方法が異なるので図示していません。

スピーカー2本使いのとき



⚠ 警告

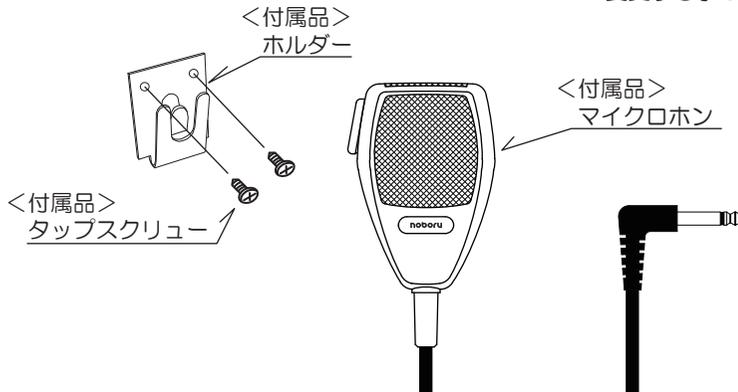
規定以外のヒューズを使用しないでください。火災・感電の原因になります。ヒューズを交換するときは、はずしたバッテリー側コードのヒューズ接続端子をバッテリーのマイナス端子や車体アースとショートさせないでください。故障の原因となることがあります。必ず、本体の電源スイッチを切った上でショートしないような処理を行ってからヒューズを交換してください。

パーキングブレーキレバーを操作してパーキングブレーキ検出スイッチがオンする(閉じる)と、黄色線がアースされSD音量を低下させる回路が起動します。黄色線をアースしている間はSD音量が本体底部のミュート時音量ボリューム設定値が有効になります。検出スイッチがオフする(開く)と低下状態が解除されます。黄色線を何処にも配線しない場合は、パーキングブレーキレバーを操作してもSD音量は低下しませんが、マイク放送を行うとミュート時音量ボリューム設定に従ってSD音量が低下します。内部スイッチ切替により、マイク放送を行ってもSD音量が低下しないようにすることもできます。※内部スイッチの切り替え方法については顧客サービスセンターにご連絡ください。

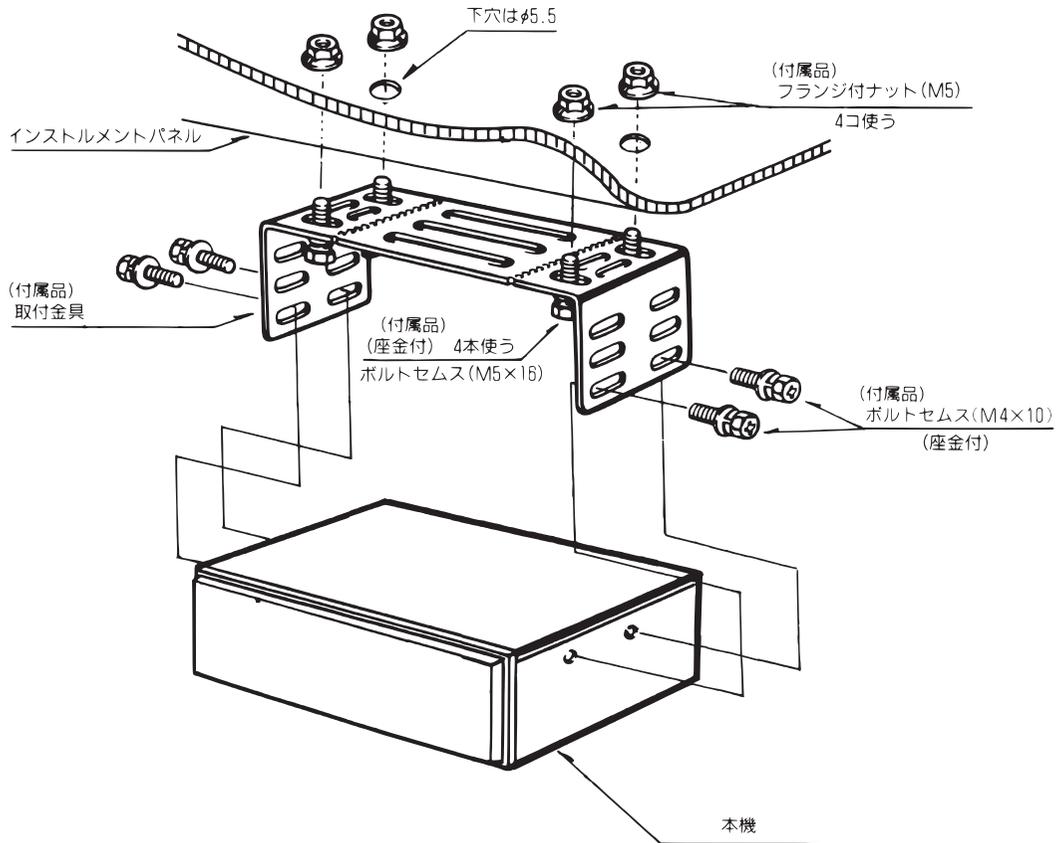
■ 取付方法

マイクホルダーの取付

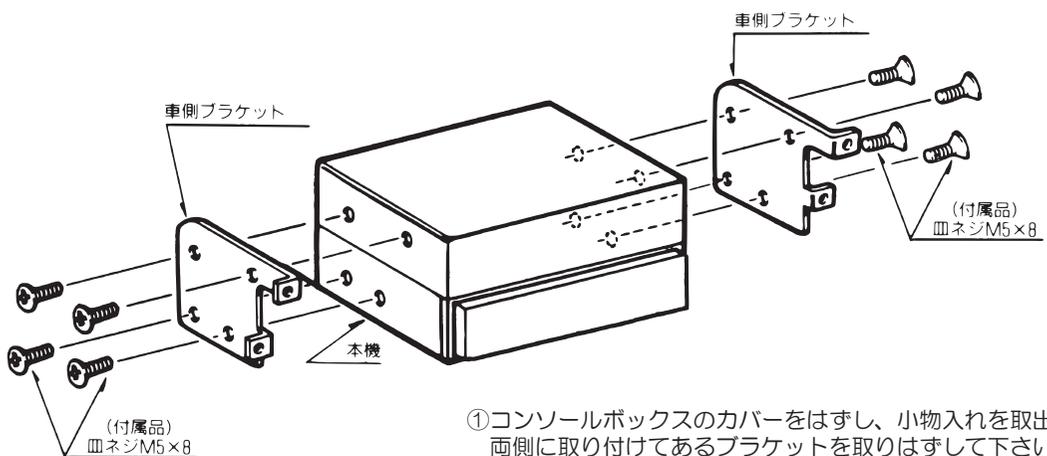
(注) 付属マイクは、予告なく形状を変更する事があります。



アンダートレイに取付する場合

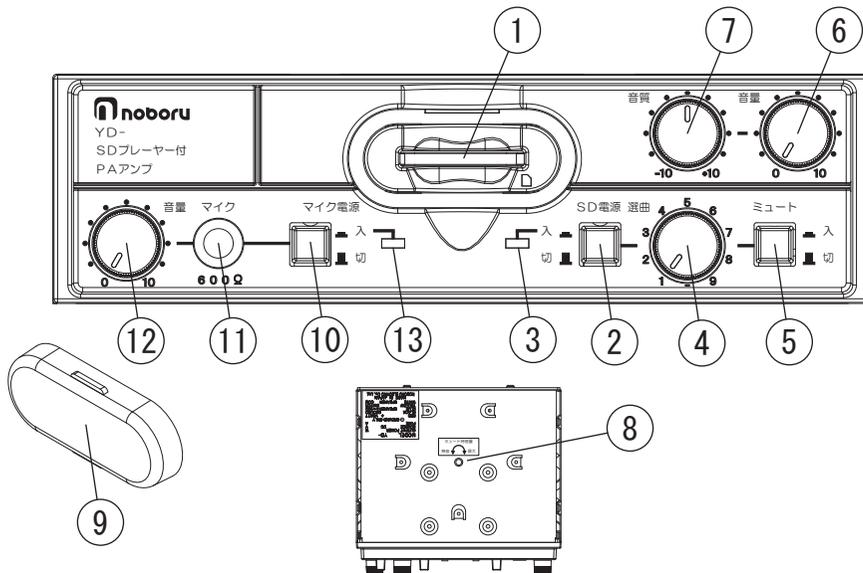


コンソールボックス内に入れる場合



- ①コンソールボックスのカバーをはずし、小物入れを取出して両側に取り付けてあるブラケットを取りはずして下さい。
- ②車側のブラケットを上図のように本機の左右側面に付属の皿ネジ (M5×8) を使い取付して下さい。
- ③小物入れを取出したときと逆の順序でコンソールボックス内に組み込み、最後にコンソールボックスのカバーを元どおりに取付して下さい。

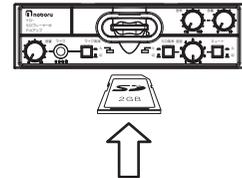
■各部の説明と使い方



(SD部)

①SDカード挿入口

SDカードのロゴが記載されている面を上にして「カチッ」というまで押し込んでください。抜き取りは再度「カチッ」と音がするまで押し込むと、出てきます。



②SD電源ボタン

ボタンを押すとSD回路の電源が入り、SD電源表示灯が点滅し、選曲ツマミで選曲しているデータが放送されるとSD電源表示灯が点灯します。再度押すと電源が切れます。

③SD電源表示灯 (青色)

SD電源が入ったときに、点灯または点滅します。

点灯：正常にSDデータを再生中。

点滅1（1秒点灯、2秒消灯）：SDカードが挿入されていない。選曲ツマミで選曲されたポジションのデータが存在しない。

点滅2（0.5秒点灯、0.5秒消灯）：SDカードを読み込み中。SD選曲ツマミで選曲されたポジションのデータを読み込み中。

点滅3（0.25秒点灯、0.25秒消灯）：SDカードに再生可能ファイルがない。

④選曲ツマミ

SDカードに入っているデータを選曲します。
選曲されているデータを繰り返し再生します。

⑤ミュートボタン

ボタンを押すとSD放送音量がミュートボリュームの設定になります。

⑥SD音量調節ツマミ

時計方向に回すとSD音量が増大します。

⑦SD音質調節ツマミ

時計方向に回すと高域強調となり、反時計方向に回すと低域強調となります。

⑧ミュートボリューム

ミュートボタンを押した時や、マイク放送ミュート、パーキングブレーキ検出回路が働いた時に、SD放送音量を調節します。時計方向に回すとミュート時の音量が大きくなり、反時計回りに回すとミュート時の音量が小さくなります。

反時計回りに回しきった時は、ミュート時SD放送は無音になります。
SD音量調節ツマミの設定より大きい場合は、SD音量調節ツマミの設定に制限されます。

⑨フタ

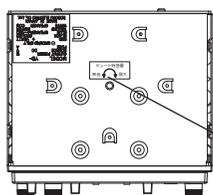
SDカード挿入口保護用のフタです。SDカード挿入後、取付けてください。

(マイク部)

- ⑩マイク電源ボタン ボタンを押すと電源が入り、マイク電源表示灯が点灯し、マイク放送ができます。再度押すと電源が切れます。
- ⑪マイクジャック 付属のマイクのプラグを挿入します。プラグを抜く時はプラグを持って行き、マイクコードを引っ張らないでください。
- ⑫マイク音量調節ツマミ 時計方向に回すとマイク音量が増大します。
- ⑬マイク電源表示灯 マイク電源ボタンを押した時だけこの表示灯が点灯します。

●SDを再生中にサイドブレーキレバーを操作してパーキングブレーキ検出スイッチがオン（閉じる）したり、マイク放送を行ったりした時はSDの音量が自動的に低下しますがパーキングブレーキを操作（オン）している時にマイク放送を行っても既にSD音量が低下しているので、新たな音量低下は起こりません。

■ミュートについて

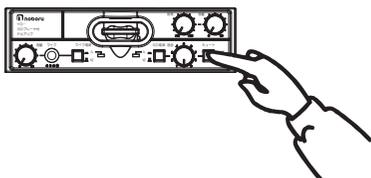


本機にはミュート機能が付いています。
出荷時初期設定のミュート用ボリュームは「最大」になっています。
(ミュートが全く効かない状態)
本体底面中央のミュートボリュームを調整してください。

ミュートボリューム

ミュートをかける方法は以下の3通りです。

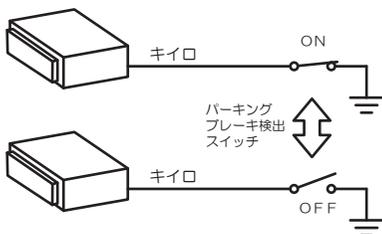
(1) ミュートボタンを押す



ミュートボタンを「入」にするとミュート機能が働きます。

ミュートボタンを「切」にするとミュート解除します。

(2) パーキングブレーキ検出スイッチを操作する



パーキングブレーキ検出スイッチがONになるとミュート機能が働きます。

パーキングブレーキ検出スイッチがOFFになるとミュート解除します。

(3) マイク放送を行う



マイク放送を行うとミュート機能が働きます。
マイク放送が終わると2秒後にミュート解除します。

■故障かな？

機器の調子がおかしい時、案外簡単なことが原因になっていることが多いものです。修理を依頼される前に次の点検項目をチェックしてください。

症 状	点 検 項 目	処 置
マイク電源表示灯が点灯しない	マイク電源ボタンを押していますか	ボタンを押してください
	ヒューズが断線していませんか	ヒューズを交換してください
	電源コードの接続は正しいですか	接続が正しいか確認してください
	アース線をプラスチックにネジ止めしていませんか	アース線はバッテリーのマイナス端子、または車体の金属部にネジ止めしてください
マイクの音が出ない	マイク電源ボタンを押していますか	ボタンを押してください
	マイク音調節ツマミが「O」の位置になっていませんか	ツマミを時計方向に回してください
	マイクが故障していませんか	修理又は新しいものと交換してください
マイクの音が出途切れる	マイクプラグをジャックに確実に挿し込んでいますか	挿し込んでください
	マイクが故障していませんか	修理又は新しいものと交換してください
SDの音が出ない	録音した内容が消えていませんか	他の機器で確認してください
	SD音量調節ツマミが「O」の位置になっていませんか	ツマミを時計方向に回してください
	ミュートになっていませんか	ミュートボタンを押してミュートを解除してください
	SD選曲ツマミがデータの無いポジションを指していませんか（LED点滅1）	選曲ツマミを回してください
	SDカードが入っていますか（LED点滅1）	SDカードを挿入してください
	SDカード内のファイル名はSDAUD_???.MP3（??は01～10迄の数字）になっていますか（MP3はWMA，M4Aでも可）	ファイル名を修正してください（全角不可） パソコンの拡張子設定が非表示の場合、拡張子が重ならないようご注意ください。
	SDカード内のデータはルートディレクトリにありますか	ルートディレクトリに入れてください （データをフォルダに入れていない状態）
	多数のファイルを保存していませんか。または保存したことはありませんか。	SDカード内ファイルをパソコン等に保存した後、SDカードのフォーマットを行い、必要なファイルのみSDカードに保存するようにしてください。
SDの音が小さい	SD音量調節ツマミの位置が「O」付近になっていませんか	ツマミを時計方向に回してください
	録音レベルが適正ですか	録音レベルを上げてください
	ミュートになっていませんか	ミュートボタンを押してミュートを解除してください
スピーカーからの音が小さい	トランス付きスピーカーを使用していませんか	必ずロー・インピーダンスのスピーカーを使用してください

ヒューズについて

ヒューズが切れたときは原因を調べ、対策を実施後、指定のヒューズと交換してください。
指定のものより大きい容量のヒューズは使用しないでください。

■仕様

品番	YD-311B	YD-314B	YD-321B	YD-324B
公称バッテリー電圧	DC12V	DC24V	DC12V	DC24V
使用電圧範囲	DC10~16V	DC20~32V	DC10~16V	DC20~32V
消費電流	2A以下	1A以下	3.5A以下	2A以下
定格出力	10W		20W	
負荷インピーダンス	4Ω (適合負荷インピーダンス4Ω~16Ω)			
歪率	5%以下 (1kHz、定格出力時)			
信号対雑音比	50dB以上			
周波数特性	マイク：200Hz~8kHz (定格の-10dB以上) SD：200Hz~8kHz (定格の-10dB以上)			
マイク回路 (音量調節器付)	インピーダンス：600Ω不平衡型 感度：2.5mV			
SDカード回路 (音質調節器付) (音量調節器付)	適合SDカード SDA準拠SD/SDHCカード (64MB~32GB) SDXC不可 ファイルシステム FAT16/32 ファイル最大保存数 10 (ファイル名指定) 録音時間はSDカード容量に依存 音声圧縮伸張方式 MP3 (MPEG Layer3), WMA, AAC 対応ビットレート 8~320kbps, 8~48kHz 機能 曲選択ロータリスイッチ (選択曲を繰り返し再生します) 音質調整 8kHzにおいて+7dB以上、-13dB以下			
ミュート機能 (音量調節器付)	マイク放送、ミュートスイッチ、または車両停止検出により SD出力をミュートします 減衰量 最大で無音 (マイクレベル1.8mVでミュート) マイク放送時復旧時間 2秒			
使用温度範囲	-10~+50℃			
外形寸法	幅178×高さ50×奥行164(mm) [突起物含む]			
質量	約1.0kg		約1.2kg	約1.1kg
付属品	マイクロホン 1個、マイクロホン取付金具 1個 接続コード 1個、本体取付金具 1個、 本体取付用ボルト、ナット類 1式 保証書付取扱説明書 1冊 (本書) 交換用ヒューズ 1個 (ヒューズの容量は下表参照)			
	YD-311B/YD-314B		YD-321B	YD-324B
	2A		5A	3A

■著作権法について

- あなたが外部機器を利用して著作権の対象となっている著作物を複製・編集などしたものや、他人の講演などを録音したものは、個人で楽しむ用途以外では著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 放送コード、CD、その他の録音物や他人の講演などは、音楽の歌詞・楽曲と同じく著作権法により保護されています。従って、個人使用の範囲を超えてそれらを録音・編集して、販売・レンタル・譲渡したり、営利のために使用する場合には、著作権法上、権利者の承諾が必要です。
- 詳しい内容や、著作権物に関する承諾のための手続きについては、「日本音楽著作権協会(JASRAC)」の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

品質保証書 持込み

型名	YD-311B/YD-314B YD-321B/YD-324B		★製造番号	この保証書は無償修理規定により無償修理を行なうことを約束するものです。お買い上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、商品と本書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。修理品の送料はご使用者においてご負担ください。
保証期間	お買い上げから一年間 但し、消耗品を除く（詳しくは下記に記載）			
お買い上げ日	★ 年 月 日			
★お客様欄	ご住所	〒 — Tel () —		★販売店 住所・店名・電話番号
	お名前	様		

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。製造番号については本体の底面に貼付しています。本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管ください。

<無償修理規定>

1. 取扱説明書、本体注意銘板などに従った、正常な使用状態で、保証期間内に万一故障した場合、商品と本書をお買上の販売店にご持参、ご提示の上、修理をご依頼ください。無償にて修理いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合は有償修理となります。
 - (1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または損傷。
 - (2) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧などによる故障および損傷。
 - (4) 常識的に正常な動作であるにもかかわらず、修理または、部品交換等の要求をされる場合。
 - (5) 本製品に接続された当社指定以外の機器故障に起因する故障。
 - (6) お客様のご都合による、出張修理を行なった場合の出張費用。
 - (7) 保証書のご提示が無い場合。
 - (8) 保証書にお買上日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合。
3. この保証書は日本国内においてのみ、有効です。This warranty is valid only in Japan

修理メモ

*本製品の故障に起因する付随的損害についての保証はお受けできません。
 *この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な場合、お買上の販売店または下記の顧客サービスセンターまでお問い合わせください。



株式会社

拡声用音響装置
ノボル電機製作所

顧客サービスセンター	フリーダイヤル（無料電話） TEL0120-014-602 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00（土・日・祝日を除く） 商品や技術など、お問い合わせにお応えします。
------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------